

教科名	国語	科目名	国語総合（現代分野）	履修クラス	1年全クラス	
				担当者	荒井太郎・斉藤安教	
使用教科書		「高等学校 国語総合 改訂版」三省堂			履修単位数	2
副教材等		「新版カラー版新国語便覧」第一学習社 「覚えやすいテーマ別・段階別 漢字の実践練習 筆順・意味・用例付」第一学習社				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
論理的な文章では、叙述に即して内容を正確に読み解き、筆者の考えを客観的にとらえる。文学的な文章では、人物、情景、心情を表現に即して読み味わい、豊かな心情や感性を養う。	学期中の中間考査、期末考査、学年末考査、授業内の小テスト、提出物等の成果を総合的に判断する。

年間授業計画			
月	予定時数	単元	学習内容・学習活動
4	中間考査まで 12	随想 「祝福」のことば	日常的に用いられる言葉から、人と人との関わりについて考えを深めるとともに、読解の基本的な方法を理解し、文章の主旨を的確に文章把握する。
5		評論 「水の東西」	水に対する、東西の感性の違いを理解し、日本文化の特性を知るとともに文化の差異について考える。
6	期末考査まで 14	小説 「羅生門」	人間の生きる姿についての考察し、人間観の深化をはかる。 芥川龍之介の文学について理解する。
7		評論 「情報流」	評論読解の基本的な方法を理解し、文章の主旨を的確に把握する。
9	中間考査まで 14	評論 「命はだれのものなのか」	現代社会における「情報」「生命」に関わる問題について理解する。 「情報」「生命」について、考えを深める。
10		小説「少女」	小説読解の手順を確認し、文学鑑賞の方法を学ぶ。 人間の生きる姿についての考察し、人間観の深化をはかる。
11	期末考査まで 14	評論 「ネットが崩す公私の境」	ことばについて考察し、人間の思考と言語の関連についての視点を得る。
12		小説「紫紺染について」	近代を独特な民話的世界として形象下した宮澤賢治の作品の読解を通じて小説のおもしろさに気づかせる。
1	学期末考査まで 16	評論 「余暇について」	近代革命の結果、市民が手に入れた余暇という自由な時間の本質を問い直し、人間の生活の根幹に関わるテーマを考察する。
2		短歌・俳句・詩	韻文に親しみ、鑑賞する能力を育成する。
3			

担当者からのメッセージ（授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等）
現代文で学ぶ文章には、様々なタイプがあります。随想、評論、小説、詩や短歌・俳句と、様々ですが、作品と本気で向きあうことが大切な点は全て共通です。また、家庭では、積極的に読書をすることをすすめます。読書を通して人間の幅をひろげ、自分の生き方のヒントをつかんで下さい。

